

“新しい経験 初めての体験

そして友達と先生”

園長 高杉 洋史



今年も野菜の収穫楽しみですね。



新しい年度を迎えることができ、嬉しさでいっぱいです。自分自身が小学校に入学した日を思い出しているところです。保護者の皆様も、ご自身の入園式や入学式の大切な思い出があることでしょうか。少し興奮したあの時の気持ちを思い出して下さい。何かいいことが起こりそうな期待感がありましたね。新しい友だちや先生との出会いにも心がときめきました。大人になると社会経験が増え、予測もでき、落ち着いた行動ができる反面、初めての体験に心が躍るあの気持ち薄らいでいきます。そんな時、少し想像力を膨らませて、子どもたちの心に添ってあげていただけると助かります。不安な気持ちで戸惑っているかもしれません。この点で一番気を使わないといけないのが幼稚園教諭ですね。私たちも初めて幼稚園の教諭になった時を思い出し、初心に帰り、心を落ち着けて子どもたちと接するように心がけます。私自身四年前に自分の理想の幼稚園実現を目指してこのプロジェクトに取り組み始めたことを思い出します。

保護者の皆様のご協力で、環境整備のキラキラ委員、ミセスカレッジでの活動、絵本貸出しのご協力を始め、行事の時もそうでない時も有効に子育てラウンジを使って

いただき、保護者の皆様に出かけていただきやすい幼稚園が実現できました。最近の三年間でようやく内部環境も外部環境も落ち着いてきました。一番目指していた自然とのふれあいも次第に毎日の保育の中に生きてきています。園児の野菜の絵やタンポポの絵には、本物をよく知っている自信を感じます。花盛りのパンジーを見るにつけ、今年も各クラスでツマグロヒョウモンがたくさん羽化する予感がします。チャボのひよこの孵化も間もなくです。食育だ、生活習慣の確立だ、心の教育だ、……と声高に叫ばなくても、リラックスした生活の中でいつのまにか子どもたちに人として必要なことが身につくような幼稚園でありたいと思っています。

新しい友達と思いっきり砂遊びや鬼ごっこをして遊んでくれたらうれしいです。きっと新しい年長さんや年中さんは優しく年少さんの世話をしてくれることでしょう。新しい環境に子どもも親も教諭も余裕を持って慣れていきましょう。

